

2019 年度 第 2 回脊椎脊髄病学会、日本側弯症学会、

社会保険等システム検討委員会 議事録

日 時：2019 年 10 月 23 日（水）19：00～20:00

場 所：東京医科大学新教育研究棟 10F 1001 室

出席委員：大川 淳（担当理事）、遠藤 健司（JSSR 委員長）、高野 裕一、武者 芳朗、渡辺航太、鈴木 秀和（書記）、平井 高志、山田 浩司、新井 嘉容、八木 満、谷口 優樹、酒井 大輔、吉井 俊貴、宮城 正行

欠席：青田 洋一（側弯症委員長）、山縣 正庸、平泉 裕、井上 玄、藤田 順之

**議事**

**議事**

1 ) 2020 年度申請経過報告

2 ) 全審会報告

3 ) 2022 年度要望項目のアンケート準備、委員からの申請、新規技術についての情報（日本脊髄外科学会、ペイン学会などとの共同案も含めて）

・ステミラック注投与時の手技料について：現在静注のみ。白血病治療薬(キムリア)では静注投与だが、投与時に造血幹細胞移植で請求されている。

・今後脊柱側弯症術後ロッド延長が外来で可能となった際の手技料。

4 ) 2020 年 JSSR ポスター発表について（鈴木：2020 年度要望の結果、井上：2022 年度要望について）

5) K117-3 椎間板ヘルニア徒手整復術(2570 点)廃止について

6) 実務委員交代 吉井先生 平井先生

3 ) は、2022 年度要望項目のアンケート準備、委員からの申請（11 月に評議員にメールで提出）

その後回収し、要望項目を整理して（井上、平井）担当を 2 月に決める。

4 ) JSSR ポスター発表内容（鈴木：2020 年度要望の結果、井上、宮城：2022 年度要望について）

**JSSR2020 年度要望**

**新規：**

コンドリアーゼ（遠藤）

人工椎間板（吉井）

PPS（高野）：申請取りやめ

保険審査上、全審会では後方または後側方固定術に準ずるという意見が多かった。

筋量計測（武者）：新規検査として申請

DXA についてはメーカーで適応を取得する必要あり。内保連関連学会とも調整必要か。

千葉大学稲毛先生にメーカーとの折衝を宮城から依頼、PMDA 相談等必要時には宮城が

バックアップ

**改正：**

- 1) 通則 14 の追加 担当：高野先生
- 2) 内視鏡下椎弓形成術における複数椎間加算 担当：高野先生
- 3) 黄色靭帯骨化症における複数椎間加算 担当：吉井先生 (OPLL と一緒に)
- 4) 脊椎手術における術中CT加算：取りやめ
- 5) 陰性モデル (神戸労災鷺見先生)：繰り越し申請

**材料：**放射線防御手袋 (平泉) (要望学会:勤務医会)

側弯症学会

新規：

高度変形に対する矯正固定術 (八木、藤田)

EOS (青田)：試案掲載部分を申請

改正：

側弯症手術 術中ナビゲーション加算の適応拡大 骨悪性腫瘍とともに JOA 主学会で提出

次回開催 JSSR 発表内容、申請データの確認 2020年2月19日(水)PM7:00 から 1001 室